

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県蒲谷町 蒲谷町国民健康保険病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
14,930	8,569	第2種該当	-	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
80	41	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	121
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
72	34	106

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

公立病院として、一次・二次医療（急性期の一般患者や在宅療養患者の受入、医療依存度の高い患者の在宅復帰支援、急性期病院からの受入）の提供、救急告示病院として24時間体制で可能な限り患者の受入を行ってきた。
また、併設する老人保健施設や訪問看護ステーションとの連携を図り、切れ目のない支援を提供し、地域医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は、令和4年11月1日以降に新型コロナ陽性者の確保病床6床及び休止病床12床を確保した影響により減少したが、入院患者1人1日当たり収益は、適正なベッドコントロールの効果により増加した。

外来患者1人1日当たり収益は、新型コロナの影響等により減少した。

入院・外来共に収益が減少したことにより、関係する医業収支比率、職員給与費対医業収益比率などの指標は悪化したが、新型コロナ陽性者の受け入れに伴う国庫補助金が交付されたことにより、経常収支比率は増加している。

材料費対医業収益比率が高い状況が続いており、ジェネリック医薬品への切替などの材料費の見直しが必要である。

2. 老朽化の状況について

全体的に類似団体や全国平均を上回る高い数値で推移している。設備は建物が開設から35年を経過しているため、不具合が発生する頻度は高まっている。また一部の器械備品は耐用年数を超え、保守の延長などを行いながら修繕で対応しているケースが多いため、設備と備品の両方で老朽化が進んでいる。

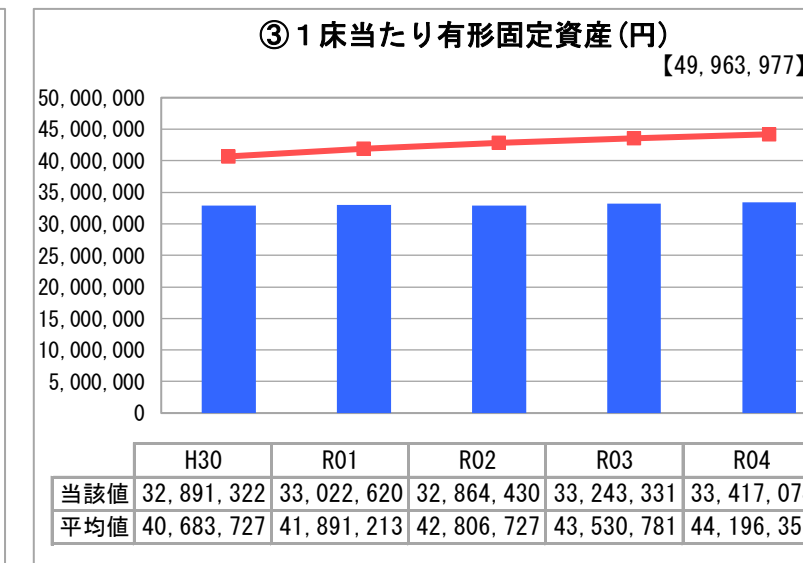
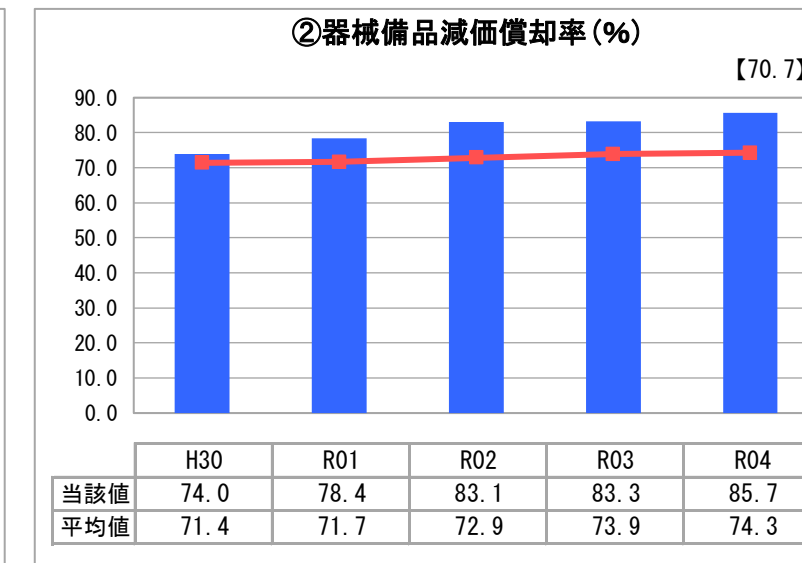
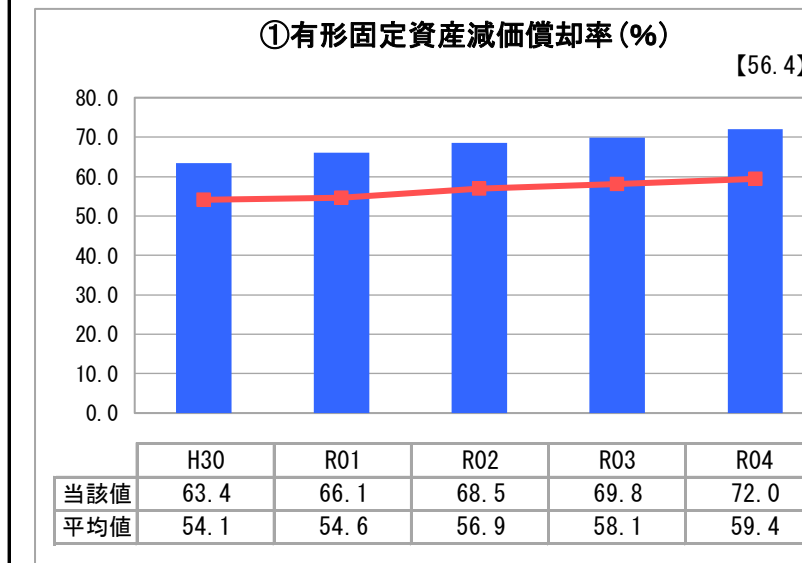
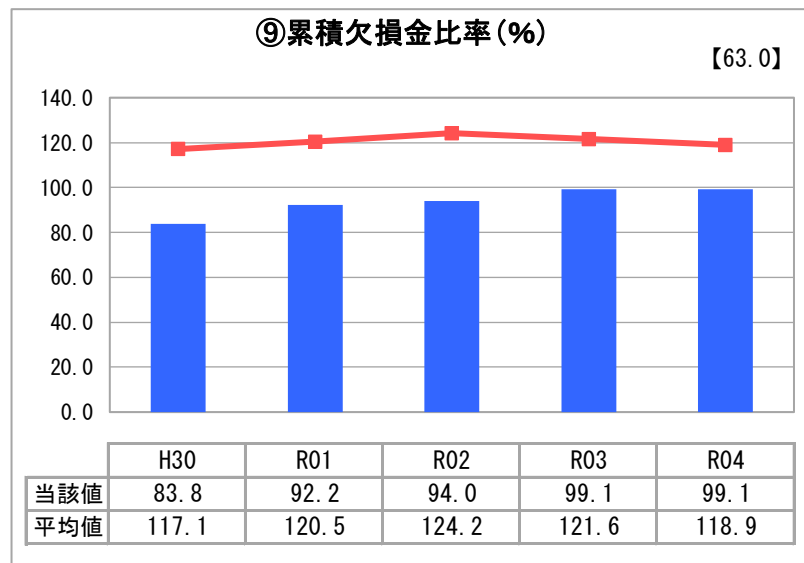
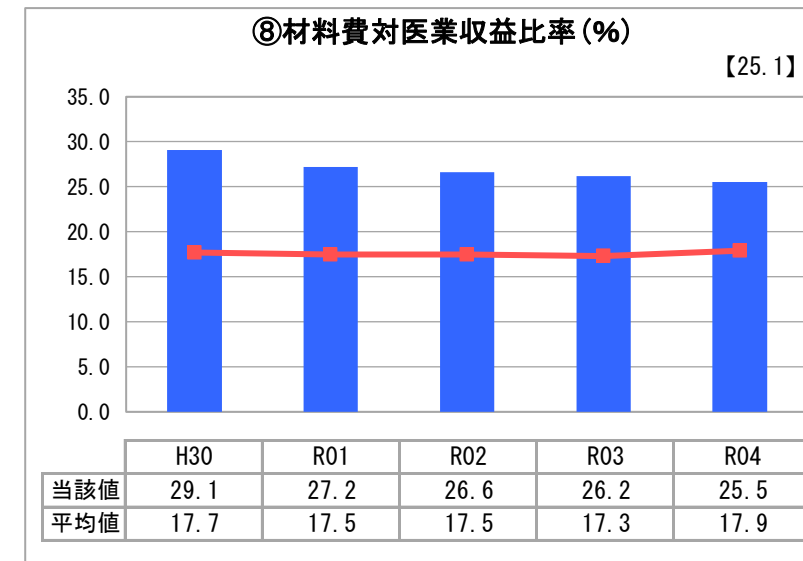
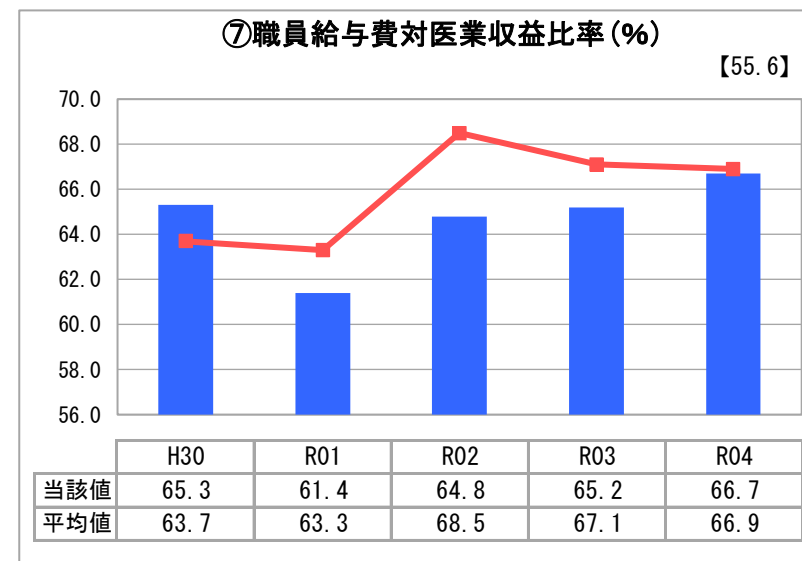
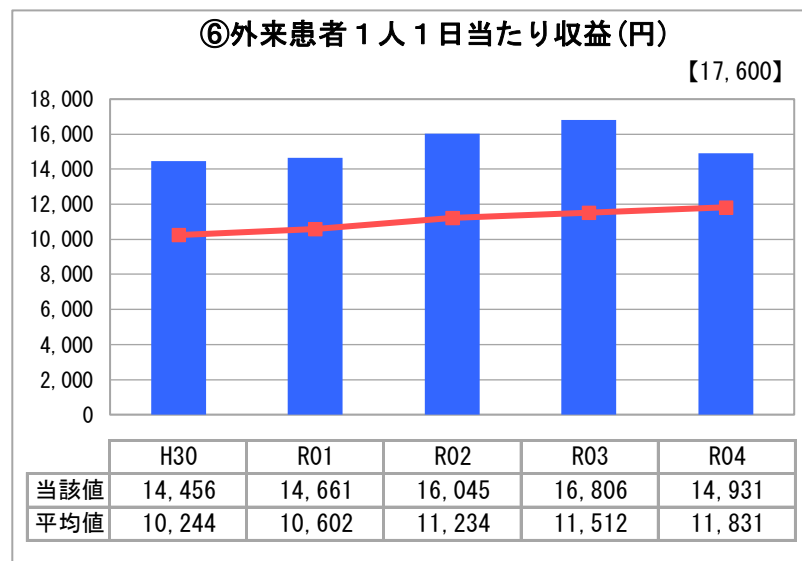
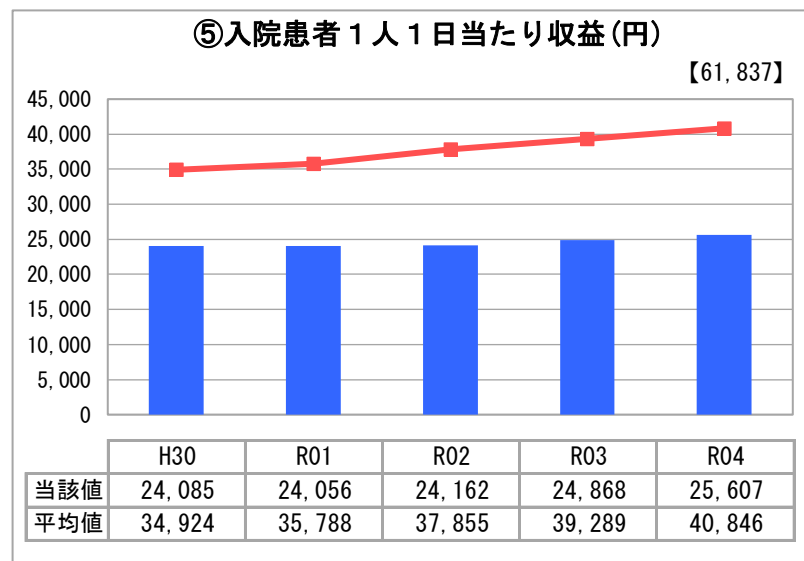
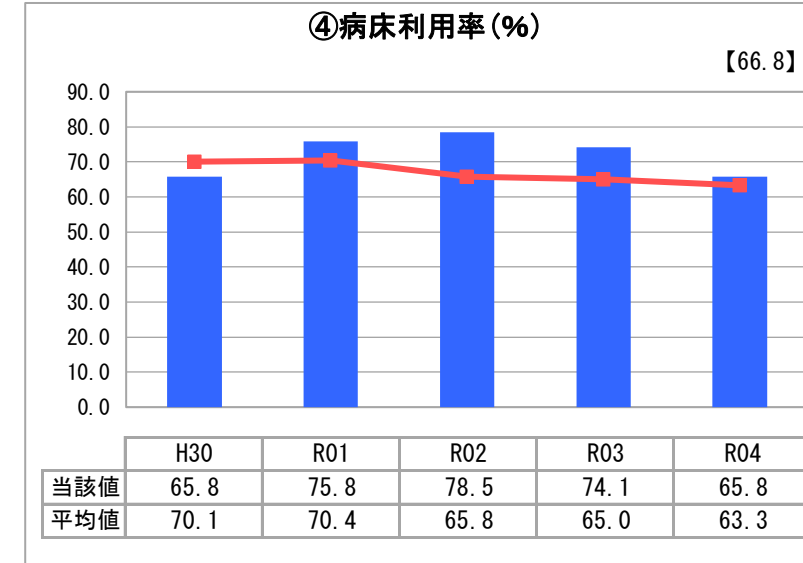
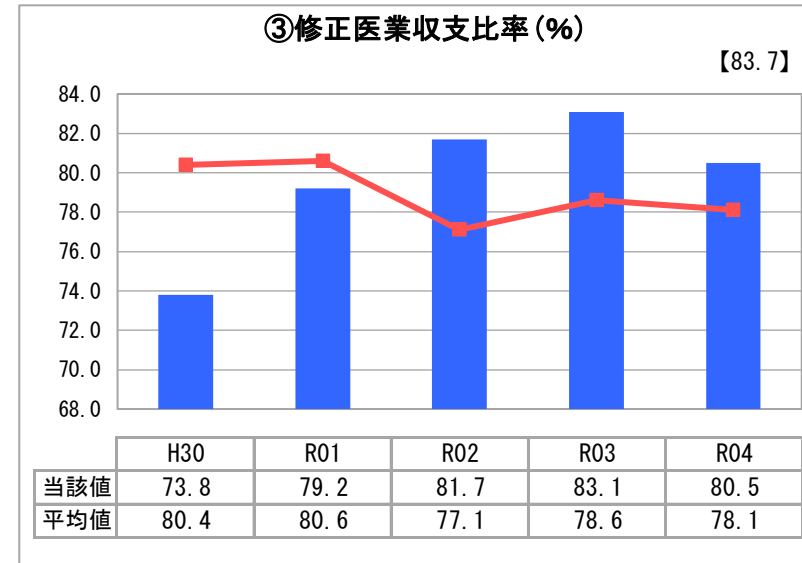
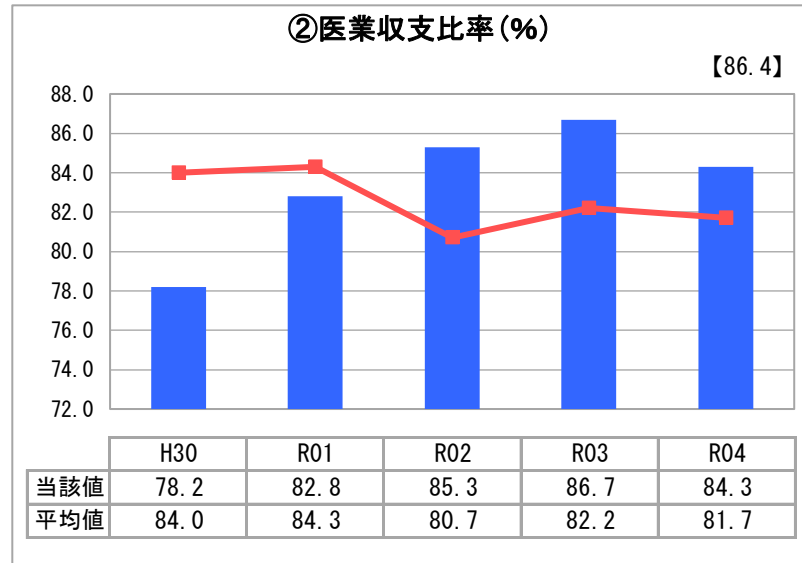
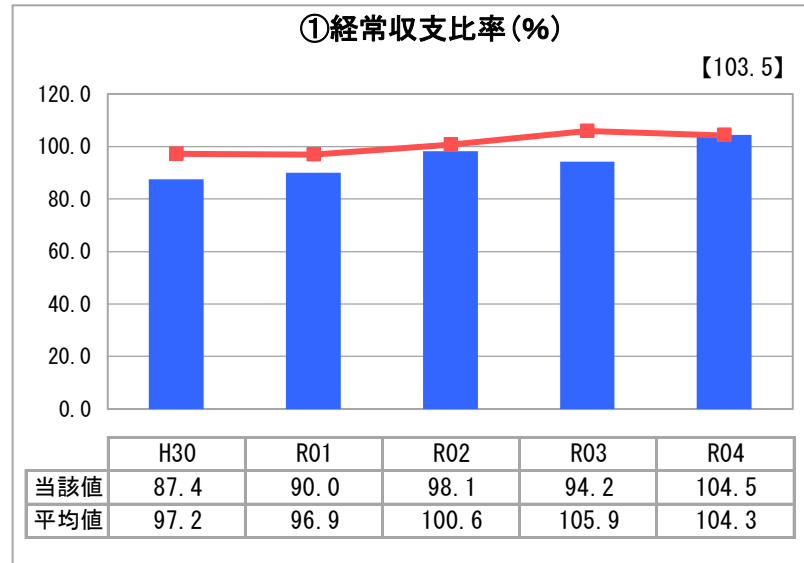
全体総括

令和4年度は、新型コロナにより医業収益が減少する一方、それに関連する国庫補助金等の交付により経常収支が増加するなど、病院経営において新型コロナの影響が大きい年度であった。

五類感染症に移行される等、新型コロナの状況は変化しているが、人口減少、医療需要の変化など病院を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。持続可能な医療体制を構築するためには、地域の医療需要に沿った病床の削減、病床機能の変更、または他病院と役割分担・連携などの取り組みを進める必要がある。

また、施設設備や器械備品の老朽化は引き続き課題として残っているが、経営の安定化を図る上で重要な事項であるため、医療の質の低下や運営に影響が及ぶことのないよう、計画的な更新を行っている。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。